

「優秀施工者国土交通大臣顕彰」及び 「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」について

良質な住宅・社会資本の整備のためには何よりも直接工事に携わる技術・技能に優れた人材が必要不可欠です。また、国民生活や経済活動を支える「社会資本整備の担い手」であると同時に、災害対応の最前線を担う「地域の守り手」として、特に災害の多い我が国において重要な役割を果たしている基幹産業である建設産業にとって、優秀な建設技能者の確保・育成が大きな課題となっています。

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲をもっていただくとともに、これらの方々を広く国民に知っていただき、その社会的評価・地位の向上を図っていくことを目的として、特に優秀な技術・技能を有し、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、平成4年度より優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）を実施しています。第34回目となる今年度は452名を顕彰し、これまでの建設マスター被顕彰者は合計13,316名となります。

また、次世代の建設現場の担い手を確保・育成すること、建設技能者の最高峰の顕彰である建設マスターに達するまでの技能の向上のインセンティブを与えることを目的として、優秀な技術・技能を有し、今後更なる活躍が期待される青年技能者の方々を対象として、平成27年度より新たに青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）を実施しています。第11回目となる今年度は119名を顕彰し、建設ジュニアマスター被顕彰者は合計1,222名となります。

なお、今年度の被顕彰者のうち女性は、建設マスター8名、建設ジュニアマスター3名となっています。

※女性被顕彰者の職種

建設マスター：造園工2名、電気工2名、土工2名、建設機械運転工1名、鉄筋工1名
建設ジュニアマスター：鉄筋工2名、電気工1名

優秀施工者国土交通大臣顕彰の詳細については、下記のホームページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000062.html

令和7年度被顕彰者の詳細

建設マスター

○被顕彰者の年齢構成

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
平均年齢	52.0歳	51.8歳	52.3歳
最も多い年齢(人数)	52歳(35人)	50歳・51歳(31人)	49歳(34人)
最低年齢	39歳	38歳	39歳
最高年齢	69歳	70歳	70歳
35～39歳の人数	1人	3人	1人
40～49歳の人数	160人	170人	184人
50～60歳の人数	240人	231人	215人
61歳以上の人数	51人	48人	59人
被顕彰者数	452人	452人	459人

○被顕彰者の主な職種

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
建設機械運転工	54人(11.9%)	50人(11.1%)	47人(10.2%)
土工	52人(11.5%)	58人(12.8%)	78人(16.9%)
舗装工	33人(7.3%)	34人(7.5%)	31人(6.7%)

建設ジュニアマスター

○被顕彰者の年齢構成

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
平均年齢	36.0歳	36.1歳	36.5歳
最も多い年齢(人数)	39歳(24人)	39歳(31人)	38歳(24人)
最低年齢	28歳	27歳	30歳
最高年齢	41歳	41歳	41歳
～29歳の人数	8人	4人	0人
30～34歳の人数	31人	30人	28人
35～39歳の人数	69人	82人	83人
40歳以上の人数	11人	5人	10人
被顕彰者数	119人	121人	121人

○被顕彰者の主な職種

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
鉄筋工	12人(10.1%)	8人(6.6%)	5人(4.1%)
大工(型枠大工含む)	10人(8.4%)	13人(10.7%)	11人(9.1%)
内装仕上工	10人(8.4%)	4人(3.3%)	6人(5.0%)